

新

コーナースタート!

隔月更新

CHECK!

2017年1月『〇代目特集』が
はじまります。

「イタリア料理人から和菓子職人へ!?」
「新しいお店だと思ったら2代目だった!」
などなど、取材で知った人々の魅力や想いを
隔月で紹介します。

くわしくは WEB をチェック!



那須ゲストハウス DOORz 那須



受け継いだもの 「那須ゲストハウス DOORz」がある芦野地区は、那須を代表するような観光地とは違いかもしれません。けれど、田園がひろがる美しい景色、のんびりした時間、なにより生活している人達が魅力的!訪れる人を包み込む、温かさを伝えたいです。

新しい取り組み 田植え、草取り、稲刈りまで、元の農家さんに教わる「くらしのがっこう 稲作部」大人も思わず子どもに戻った気持ちで体験できます。

知らない世界への第二步。新しい扉が開くきっかけの場所になったら嬉しい

愛知県で薬剤師として勤務。震災をきっかけに、仕事を辞め両親のいる栃木県へ。ひとり旅で訪れた、ニューヨークのゲストハウスが転機になる。ローカルイベント「アースデイ那須」での活動や出会いをきっかけに、2013年11月「那須ゲストハウス DOORz」をオープン。母になった現在も、オーナーとして活躍。



初代
田中 麻美さん
(34歳)

空き家探しからスタート!
古民家を改装しました。



くらしのがっこう 稲作部。
昨年の夏の様子。



御菓子司 ふくしまや 足利



受け継いだもの 1番最初に父に教えてもらった「すあま」。100年以上続くお店で、初代からずっと受け継いできたメニューなんです。いつでも同じ味でお店に出せるように、気温や湿度のチェックは欠かせません。同じものを作る難しさにもやりがいを感じますね。

新しい取り組み アンティーク着物を取り扱う「うさぎや」とコラボして、足利銘仙の着物柄をモチーフにした和菓子をつくっています。

新しいものを作ろうとした時に気づいた
昔ながらの和菓子“の魅力”

元々和菓子に興味がなく、手伝いをすることもなかった。飲食業に進むため、イタリア料理を東京で5年間修業。イタリアに渡り、家業である和菓子屋を継ぐことを決める。勉強する内容が、和菓子作りに活かせるものに180度変わり、5年を経て帰国。父である2代目の教えや食べ歩きからヒントを得て、和菓子作りを楽しんでいる。



3代目
福島 幸治さん
(38歳)

柔らかな食感に
優しい甘さのすあま。
昔から変わらない味。



上生菓子
銘仙柄…350円
※「うさぎや/足利」限定販売。
(要予約)



まる 代目 特集

100年先までつなげたいとちぎの魅力

老舗の和菓子屋さん、地元で馴染みのレストラン、田園風景が広がる自然と風情のある古民家。昔からあるもの、新しいもの。カタチや想いを変えて人から人へ伝えていきたいとちぎの魅力をご紹介します。

LOCAL RESTAURANT HUT 宇都宮



受け継いだもの 「美濃や」時代の定番メニュー、ハンバーガーやとんかつは、今でも人気メニューです。カフェのような雰囲気ですが、いろんなメニューを楽しんでほしい!お客さまをお店で迎える上での心構えというか、想いは、今も変わりません。

新しい取り組み ビザやバスタなど、みんなでシェアして食べられるメニューが増えました!お肉料理やおつまみに合う、自然派ワインも好評です。イベント出店やSNSで情報発信もしています。

「おいしいごはんを食べたい!」
と思った時、思い浮かぶお店でありたい



2代目
閏米 雄一さん
(30歳)

東京で8年間、カフェ、ホテル、イタリアンなど様々なジャンルで修業。栃木にもどり、実家である「美濃や」を手伝いながら、栃木市の「Cafe Bazaar カフェバザール」で働く。2016年4月「美濃や」を閉め、大工さんと一緒に改装工事をスタート。同年8月に「LOCAL RESTAURANT HUT」として新しくオープンした。

初代の店内。
カウンターに
新鮮な食材が並ぶ。



サクサクとんかつに
野菜がたっぷり♪
ランチ…1,080円〜

〇代目募集! >>> 伝統を受け継ぎながら、新しいことに
チャレンジしている方を募集しています。